実習①提出書類の⑪課題分析表（アセスメントシート）の構成について

実習①は第４日目受講後に実習協力者宅を訪問し、アセスメントを行い、居宅サービス計画（模擬ケアプラン及びアセスメントシート等）の実習書類を作成して、第７日目に提出してください。（「受講案内」１０ページおよび「実習の手引き」２ページ）

主なアセスメント手法の「アセスメントシートの構成」は以下の通りです。

主なアセスメント手法とアセスメントシートの構成

アセスメント手法	アセスメントシートの構成
インターライ方式（注１）	（注１）
包括的自立支援プログラム	・在宅復帰及び在宅支援の検討 ・ケアチェック表１～７ ・認定調査票
日本介護福祉士会方式	・全体状況アセスメント（アセスメント用紙１） ・生活７領域からとらえた援助の必要性 （ニーズ）No１～７（アセスメント用紙２） ・ニーズ一覧表 ・生活７領域アセスメントから各ニーズの分析の視点
日本社会福祉士会方式 (ケアマネジメント実践記録様式)	・フェイスシートⅠ～ⅩⅢ ・利用者家族の状況（入所施設用）Ⅰ,Ⅱ ・アセスメント実施状況Ⅰ～Ⅵ ・アセスメント票Ⅰ～Ⅷ
日本訪問看護振興財団方式	・アセスメント票（No1～14） Ⅰ基本情報、Ⅱ生活療養情報、Ⅲターミナルケア情報、Ⅳ家族介護・家事の情報 ・問題・ニーズ領域選定表 ・ケアプラン作成評価表
居宅サービス計画ガイドライン	1.フェースシート 2.家族状況とインフォーマルな支援の状況 3.サービス利用状況 4.住居等の状況 5.本人の健康状態・受診等の状況 6.本人の基本動作等の状況と援助内容の詳細 7.全体のまとめ・１日のスケジュール
センター方式	A.基本情報 B.暮らしの情報 C.心身の情報 D.焦点情報 E.24 時間アセスメントまとめシート （ケアプラン導入シート）
愛介連版アセスメントシート	愛介連版フェイスシート 愛介連版アセスメントシート

（注１）インターライ方式の課題分析には、参考書籍「インターライ方式　ケア　アセスメント」に付属の「インターライアセスメント表」に加え、ＣＡＰでトリガーされた領域について、ガイドラインによる分析、課題の内容、ケアの方向性・内容を記入することによりケアの根拠を明らかにしたケアプラン作成がおこなえます。参考書籍にはこの部分の記入用紙がないので任意様式で作成してください。なお、同封のチラシの講習会をご利用の場合は、記入用紙が入手できます。